

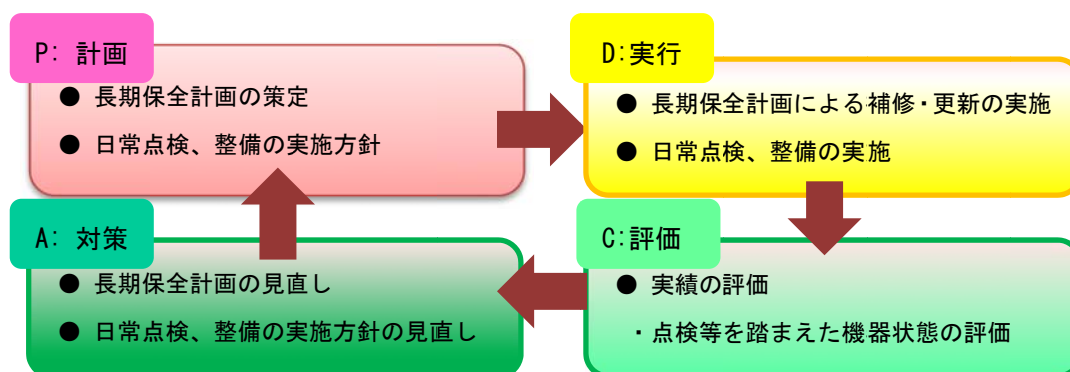
長期保全計画の取組の概要について

1. 長期保全計画の作成について

JESCO では、平成 26 年 6 月に変更された「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画」に基づき、処理設備の経年的な劣化に対応するため、長期保全計画を策定し、この計画に沿って設備や部品の更新を進め、処理設備の安定稼働に努めている。

今年度は、昨年度に実施した点検や補修・更新の結果を踏まえ、今年度を実施する補修・更新内容を見直し、その内容を反映した長期保全計画に基づき設備等の更新を行っているところである。

また、来年度以降の長期保全計画は、今年度実施する補修・更新結果を踏まえ、年度末までに見直しを行い、改めてご説明を行う予定としている。



図－1 長期保全計画の PDCA

2. 各事業所における設備の補修・更新状況について

平成 27・28 年度における各事業所での主な設備に対する補修・更新の概要は以下のとおり

(1) 北九州 PCB 処理事業所

1) **トランス・コンデンサ**処理設備

1 期処理設備は 10 年を超え磨耗故障期を迎えていることから、平成 27

年度はポンプ・モーターの更新や洗浄設備の老朽化対策等を行い、平成 28 年度は引き続き洗浄設備の老朽化対策を実施するなど、設備の更新と定期点検の充実をはかり、安全・安定操業を継続している。

2 期処理設備は、8 年目を迎え全面入替を迎える設備はないが可動部を中心とした部品更新を行なっている。なお、VTR 設備やそれと液処理設備を繋ぐ中間処理設備では、腐食による減肉が見られるため、機器・配管の一部更新や予備品の購入を行い、安全・安定操業を継続している。

2) プラズマ溶融分解設備

1 系設備は 7 年目、2 系設備は 4 年目を迎える。設備はいずれも安定期にあるが耐火材等の消耗部材の劣化が多いことから、恒温チャンバ等の耐火物の更新を炉補修時ごとに計画的に分割実施し、安全・安定操業を継続している。

(2) 豊田 PCB 処理事業所

平成 27 年度からの 3 ヶ年を中心に経年劣化対応の更新等を実施している。

平成 27 年度は、排気処理設備の一部である第 3 排気オイルスクラバーの下部の更新や充填材の交換を行い、平成 28 年度は PCB オンライン分析計の更新等を予定しており、安全・安定操業を継続している。

(3) 東京 PCB 処理事業所

東京の重要設備である水熱分解設備における腐食劣化対応として、毎年計画的に機器の更新・腐食部の肉盛等の補修工事を実施している。平成 27 年度は反応器底部鏡板部の肉盛補修を行い、平成 28 年度は処理液再生熱交換器の更新 (No.1 水熱) 等を行っている。

また、水熱分解設備以外の設備においても更新・補修等を実施しており、洗浄設備については、平成 27・28 年の 2 年間をかけて洗浄槽本体の変形対策を実施し、安全・安定操業を継続している。

(4) 大阪 PCB 処理事業所

北九州事業所同様、VTR 設備における腐食対策を中心に設備の更新・補修を行っている。平成 27 年度は VTR-D 号機第 1 オイルクーラーの取替や PCB オンライン分析計の更新を実施した。平成 28 年度は VTR-D 号機の常圧系機器の腐食対策等を実施し、安全・安定操業を継続している。

(5) 北海道 PCB 処理事業所

1) トランス・コンデンサ処理設備（当初）

平成 27 年度は各ポンプ類の補修、消耗部品交換、また蒸留設備の熱交換器および槽類の清掃・腐食調査等を実施した。平成 28 年度は各種設備のモータ・インバータ交換、シャッター設備部品交換等を実施し、安全・安定操業を継続している。また、PCB オンライン分析計の更新計画を検討中である。

2) プラズマ溶融分解設備（増設）

平成 27 年度は操業開始後 2 年経過し、毎年実施している点検・補修工事項目の他に長期保全計画を作成した。平成 28 年度は恒温チャンバの耐火物更新を実施、安全・安定操業を継続している。

なお、両施設とも最新の長期保全計画を更新中であり、今年度末までに地元行政などへご説明する予定としている。